

秋田県立秋田高等学校 平成28年度 学校概要

明治6年(1873年)9月1日創立
卒業生総数 37,835名 (旧制中学 7,080名、新制高校 30,755名)

〒010-0851 秋田市手形字中台1 7月版
Tel 018-832-7200 Fax 018-832-2969

◆校長メッセージ

秋田県立秋田高等学校 校長 安田浩幸

風光明媚な秋田市手形山に位置する本校は、今年度創立143年目を迎えました。本校の歴史は、明治6年、秋田市東根小屋町日新学校内に洋学科が増設され洋学校と称したことから始まります。長い歴史を刻みながら「文武両道」、「自主自律」の精神は先輩から後輩へと脈々と受け継がれ現在に至っています。

今年度(平成28年度)は、4月の入学式で275名の新入生を迎え、全校生徒825名、教職員73名でスタートしました。教育目標に「品性の陶冶」、「学力の充実」、「心身の錬磨」を掲げ、全人的人間の育成を目指して、教育活動の質をより高め、充実した活動を展開して参りたいと考えております。

本校生の進学面や部活動における実績や活躍を紹介します。

今年3月に卒業した生徒たちの進学実績は、国公立大学の合格者数が146名、私立大学が120名でした。主な進学先として、東京大学7名、東北大学31名、秋田大学32名、医学部医学科14名でした。

また、ほとんどの生徒が部活動や同好会、生徒会等に所属し、いくつもの部が秋田県代表として東北大会や全国大会に出場するなど優秀な成績を収めています。運動部では、今月行われた全県総体で、バドミントン部が女子団体で3年ぶり2回目の優勝を果たすとともに、シングルスとダブルスも優勝し、大いに活躍してくれました。個人では、陸上競技部、柔道部、卓球部、ボート部、少林寺拳法同好会がインターハイへの出場を決めています。昨年の秋季全県大会で優勝した硬式野球部は、甲子園出場を目指して、7月12日から始まる県予選に向けて練習に励んでいます。また、文化部では、将棋部と放送委員会が全国大会への出場を決めました。

このように生徒たちは「文武両道」を実践しており、進学面及び部活動において確実に実績を積み重ねております。また、「自主自律」の精神も、生徒会が中心となって企画・運営する様々な行事に息づいております。7月2日(土)、3日(日)には、「Universe～間に映える、煌めく祭典～」をテーマに秋高祭が開催されました。

生徒たちは学校生活のあらゆる場面で、「おのれを修めて世のためにつくす(校歌4番)」を体現することを目標に、生き生きとした活動を展開しています。

将来、世界で活躍する生徒の育成をめざして、今後も教育の質をさらに高めるために、不断の努力を重ねて参りたいと考えております。関係各位の力強いご支援をよろしくお願いたします。

平成28年7月3日



5月
うぐいす坂のツツジ



4月
敬天週間



4月
運動会での棒倒し

◆教育目標

- 1) 品性の陶冶： 集団の規律を遵守し、確固たる責任観念をもって自律的に行動する生徒を育成する。
- 2) 学力の充実： 真理を愛し、高い理想と旺盛な探究心をもって学習に精励する生徒を育成する。
- 3) 心身の錬磨： 心身を鍛錬し、強靱不屈の精神をもって不断に前進する生徒を育成する。

◆在籍数

	普通科(1年は普通・理数科)				理数科				計
	学級数	男	女	小計	学級数	男	女	小計	
1年	7	153	123	276					276
2年	6	136	104	240	1	28	6	34	274
3年	6	159	81	240	1	24	11	35	275
計	19	448	308	756	2	52	17	69	825

◆過去5年間の主要大学合格者数

(現浪合計数(現役数))

卒業年	北海道	秋田(医)	東北	東京	一橋	東京工業	京都	慶應義塾	法政	明治	早稲田
合計	52 (33)	97 (53)	225 (168)	47 (28)	11 (9)	7 (7)	13 (7)	44 (20)	90 (42)	139 (70)	125 (56)
H28	7 (5)	17 (9)	43 (31)	8 (7)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	10 (3)	23 (8)	35 (14)	25 (11)
H27	10 (5)	18 (8)	34 (24)	12 (7)	3 (2)	1 (1)	4 (2)	9 (3)	16 (8)	21 (10)	27 (13)
H26	13 (9)	31 (19)	50 (37)	9 (3)	2 (2)	0 (0)	2 (0)	7 (5)	19 (9)	30 (15)	25 (14)
H25	11 (7)	17 (7)	43 (33)	4 (3)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	9 (3)	24 (13)	32 (16)	22 (12)
H24	11 (7)	14 (10)	55 (43)	14 (8)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	9 (6)	8 (4)	21 (15)	26 (6)

◆部・同好会加入状況（平成28年度） ※数字は（男・女）

部	硬式野球	軟式野球	テニス	ソフトテニス	ラグビー	サッカー	男子バレー	男子バスケ	卓球	弓道	山岳	ボート
	41・5	11・2	23・10	16・1	23・2	26・4	17・6	27・5	14・9	20・19	2・2	18・4
	柔道	剣道	陸上	バドミントン	水泳	体操	スキー	文芸	合唱	書道	美術	外語
	14・2	11・2	35・15	11・11	11・5	0・0	0・0	4・7	4・9	0・7	2・19	1・20
	物理	化学	生物	地学	社会	吹奏楽	写真	茶道	囲碁	将棋	アマチュア無級	
16・0	14・5	14・5	6・8	3・1	10・42	1・14	0・25	1・0	14・1	0・0		
同好会	ダンス	軽音楽	クッキング	女子バレー	JRC	女子バスケ	ジャグリング	フットサル	手芸	少林寺	映画	
	0・34	31・16	0・16	0・5	0・3	0・9	11・13	0・0	0・0	2・0	4・1	

◆平成28年度部活動実績

◇運動部

全県総体	柔道	男子団体	2位	東北大会出場	
〃	〃	男子60kg級	1位	インターハイ出場	丹 智広(3)
〃	〃	男子73kg級	2位	東北大会出場	今野 連(2)
〃	〃	〃	3位	東北大会出場	伊藤光翼(3)
〃	〃	男子81kg級	2位	東北大会出場	鈴木雄大(3)
〃	〃	男子90kg級	2位	東北大会出場	加藤裕次郎(2)
〃	〃	女子52kg級	2位	東北大会出場	今野ちあき(3)
〃	卓球	男子団体	2位	東北大会出場	
〃	〃	男子シングルス	2位	インターハイ出場	初山聖陽(3)
〃	〃	〃	3位	インターハイ出場	吉澤真泰(2)
〃	〃	〃	ベスト8	東北大会出場	浅見隆心(3)
〃	〃	女子団体	3位	東北大会出場	
〃	〃	女子シングルス	ベスト8	東北大会出場	落合莉奈子(3)
〃	ボート	男子シングルスカル	1位	インターハイ出場	升屋和葵(3)
〃	〃	女子シングルスカル	1位	インターハイ出場	浅利真美子(3)
〃	〃	男子クォドルプル	2位	東北大会出場	
〃	〃	男子ダブルスカル	2位	東北大会出場	
〃	テニス	男子団体	2位	東北大会出場	
〃	ソフトテニス	男子ダブルス	9位	東北大会出場	児玉絃(3)・柳田尚輝(3)
〃	バドミントン	女子学校対抗	1位	インターハイ出場	
〃	〃	女子ダブルス	1位	インターハイ出場	加藤礼彩(2)・安藤美邑(2)
〃	〃	女子シングルス	1位	インターハイ出場	加藤礼彩(2)
〃	〃	〃	3位	東北大会出場	安藤美邑(2)
〃	少林寺拳法	男子組演武	2位	インターハイ出場	土門虎太郎(3)・近藤 充(1)
〃	〃	男子単独演武	4位	東北大会出場	土門虎太郎(3)・近藤 充(1)
〃	〃	〃	5位	東北大会出場	近藤 充(1)
〃	剣道	女子個人	ベスト8	東北大会出場	沼田翔菜(1)
〃	水泳	男子200m平泳ぎ	1位	東北大会出場	岩本世歩(1)
〃	〃	高飛び込み	1位	東北大会出場	高橋秀椰(3)
〃	〃	3m飛び板飛び込み	1位	東北大会出場	〃
〃	〃	男子400mメドレーリレー	3位		
〃	〃	女子200mバタフライ	3位		成田知代(3)
県民体育大会	ボート	男子シングルスカル	1位	ミニ国体出場	福森 樹(2)
〃	〃	女子シングルスカル	1位	ミニ国体出場	浅利真美子(3)
東北大会	陸上競技	男子混成8種	2位	インターハイ出場	山本祐麻(3) 秋田県新
〃	〃	男子棒高跳	〃		手塚宗佑(3)
〃	〃	男子800m	〃		三浦天道(3)
〃	〃	女子走り幅跳	5位	インターハイ出場	大平風花(1)
〃	ボート	女子シングルスカル	1位		浅利真美子(3)
〃	〃	男子シングルスカル	6位		升屋和葵(3)

◇文化部

秋田県高校かるた競技大会	個人	2位	全国高総文祭出場	佐々木杏子(1)
第52回全国高等学校将棋選手権大会秋田県予選	男子団体	1位	全国大会出場	伊藤(3)-加賀谷(2)-佐藤(2)
〃	女子個人	1位	全国大会出場	小棚木花保(3)
第29回全国高校将棋竜王戦秋田県予選	男子個人	1位	全国竜王戦出場	加賀谷昂輝(2)
秋田県高校写真展		入選		鈴木萌子(3)
〃		〃		渡邊 瑛(2)
NHK放送コンテスト秋田県大会	総合	金賞		
〃	アナウンス部門	優秀賞	全国大会出場	佐藤花緒(3)、神林沙紀(2)
〃	朗読部門	優秀賞	全国大会出場	渡部晃史(3)、菊地葉奈(2)
〃	ラジオドキュメント部門	最優秀賞	全国大会出場	「今、ここに生きる力」
〃	テレビドキュメント部門	優秀賞	全国大会出場	「つながるココロ」
〃	創作ラジオドラマ部門	最優秀賞	全国大会出場	「生物部では海月を飼っています」
〃	創作テレビドラマ部門	最優秀賞	全国大会出場	「綾の春に」
〃	研究発表部門	最優秀賞	全国大会出場	「ドリー」の制作と利用-移動カメラ